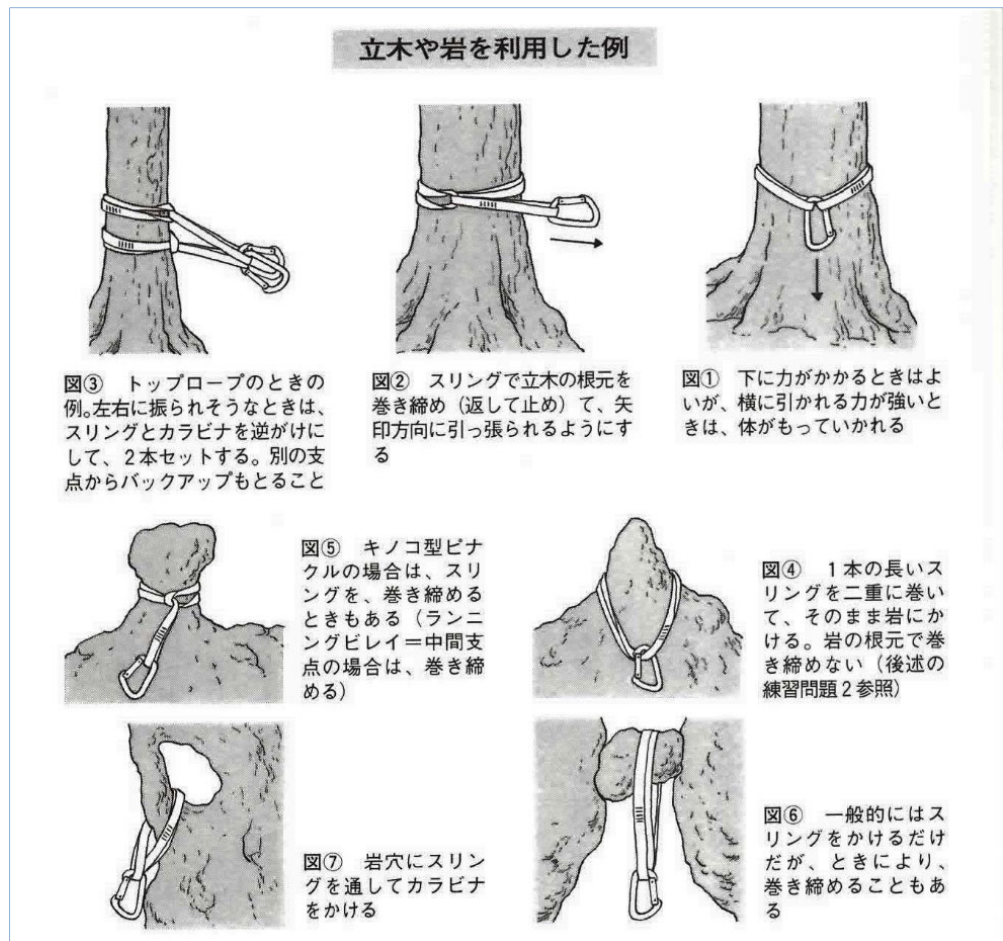
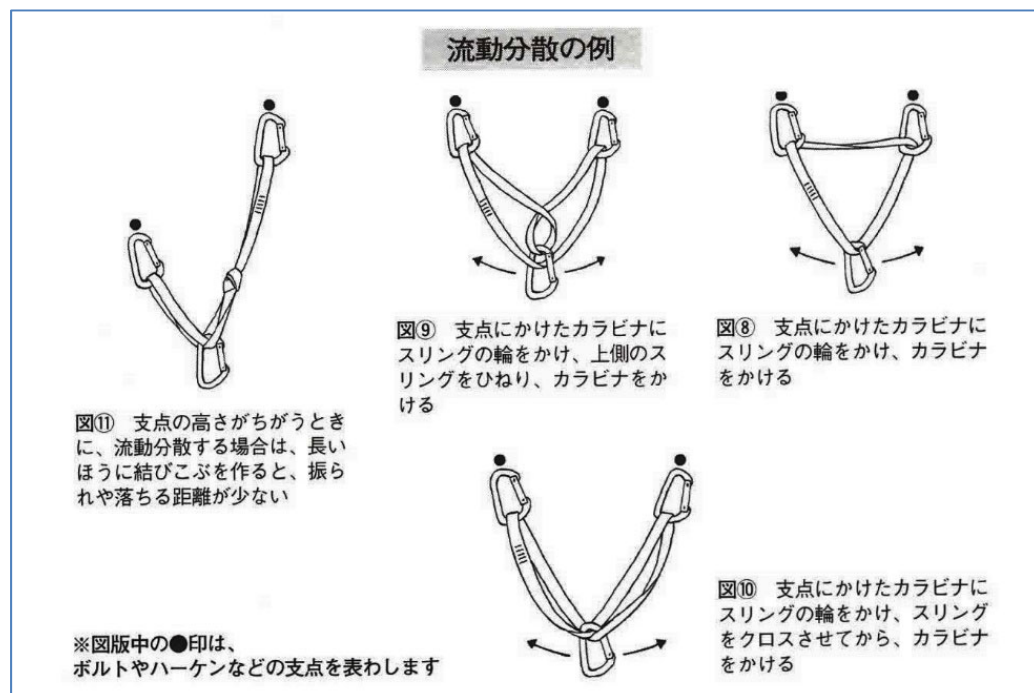


支点のつくり方、確保、懸垂下降・仮固定

1 自然の物の利用

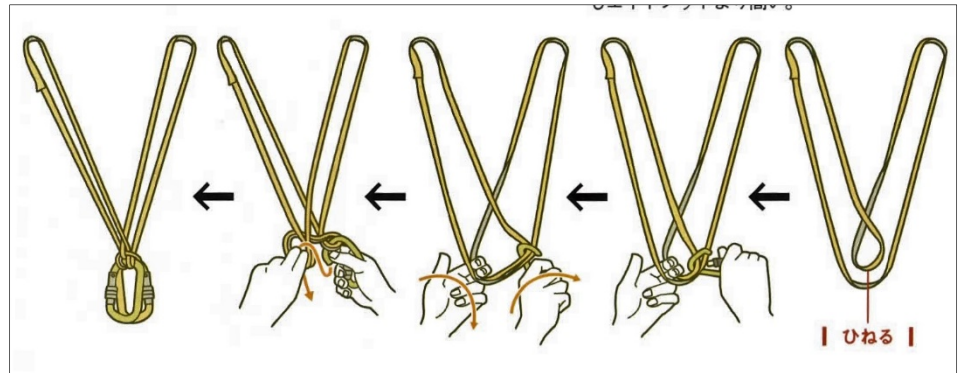


2 人工物支点の使用（流動分散）



3 流動分散から固定分散を作る

- * ノーマルカラビナの場合
は 2 個を反対向きに
- * 環付カラビナの場合は 1
個で良い



4 練習問題

独立したスリングを複数使う例

図14 独立した2本のスリングを使用した場合横に引っ張られたときは、片方のスリングだけに力がかかるので、片方の支点が抜けやすい

図13 独立した2本のスリングを使用して、カラビナをかける。支点の高さが異なるときは、異なる長さのスリングを使うなどして調整するとよい

図12 クイックドローを2個使用する。2枚のカラビナにセルフビレイするときは、エイトノット（8の字結び）がよい

練習問題 4

例A ①・②カラビナをかける ③スリングをかける ④上側のスリングをひねって ⑤カラビナをかける

練習問題 3

例A カラビナにスリングをかけて、そのままカラビナをセットする

例B スライディングノットに結びこぶを作ってカラビナをセットする

例C (支点が3点の例)。スリングを2カ所ひねってカラビナをセットする

練習問題 1

例A 立木の根元にスリングをまわして、カラビナをかける。スリングが短くカラビナが横を向いている

例B (立木を上から見た図)。立木の根元にスリングを巻き縮める。荷重は矢印の方向にかかる場合の例

例C 確保者がスリングをかけるのにちょうどよい高さにある枝を確保支点とする

すばやくスライディングノットをセットする方法

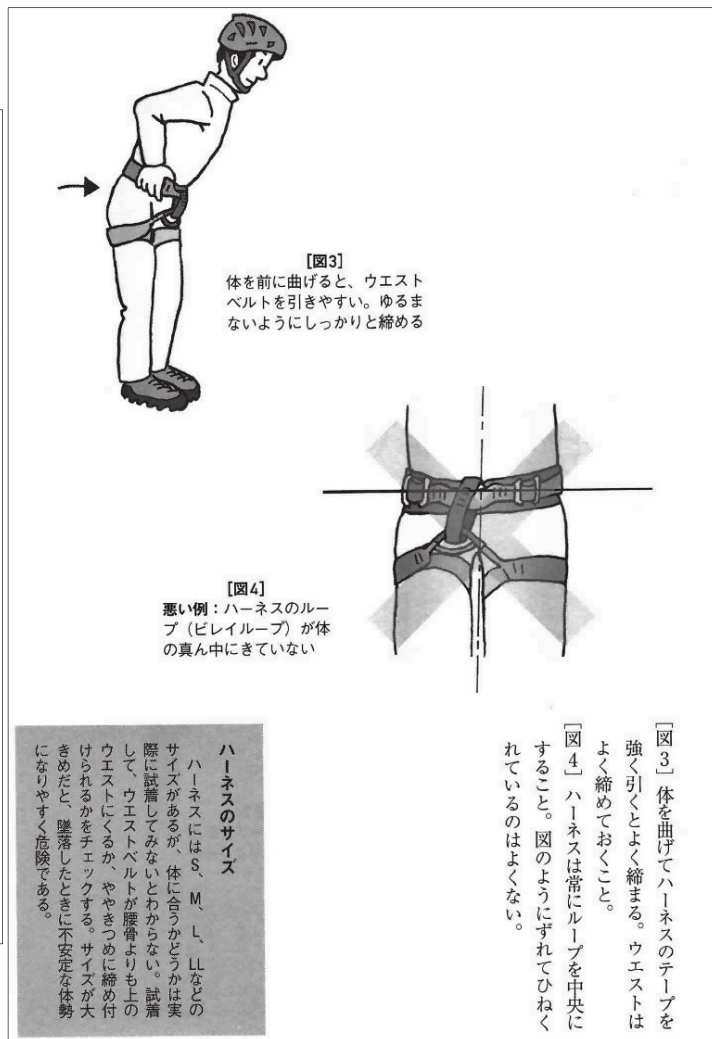
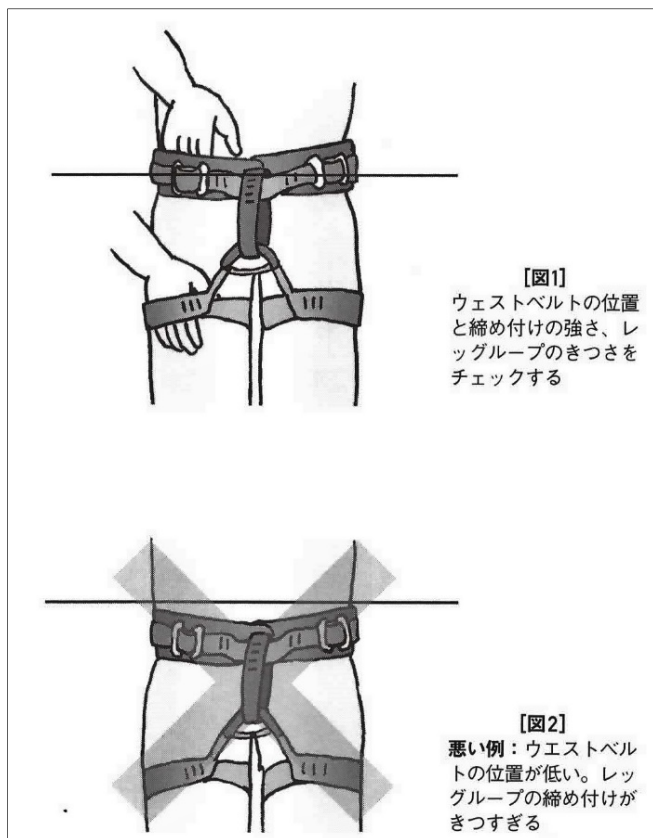
例A 上からスリングをかけたただけ

例B スリングを付け根部分に巻き縮める

図16 ①肩からスリングをはずし、カラビナの1枚を支点にかける ②もう1枚のカラビナでセルフビレイする ③別の支点にカラビナをかける ④スリングの一端を、③の支点にかけかえる

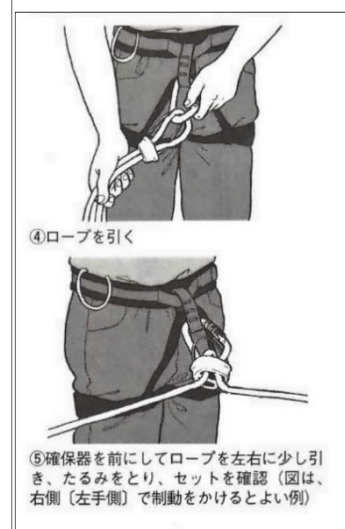
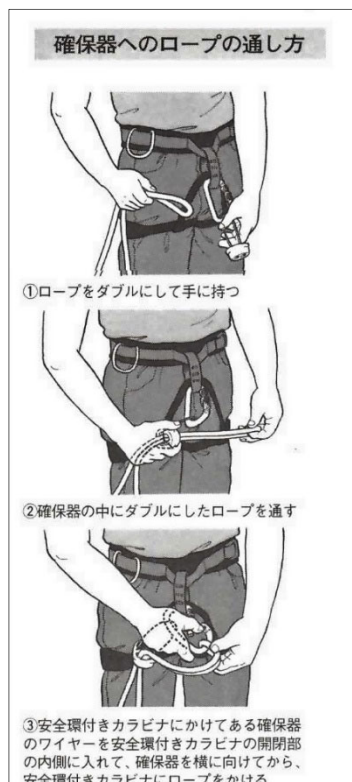
図15 長いスリングを二重に巻いて、そこにカラビナを2枚かけて、肩にたすきがけしておく

5 ハーネスの正しい付け方



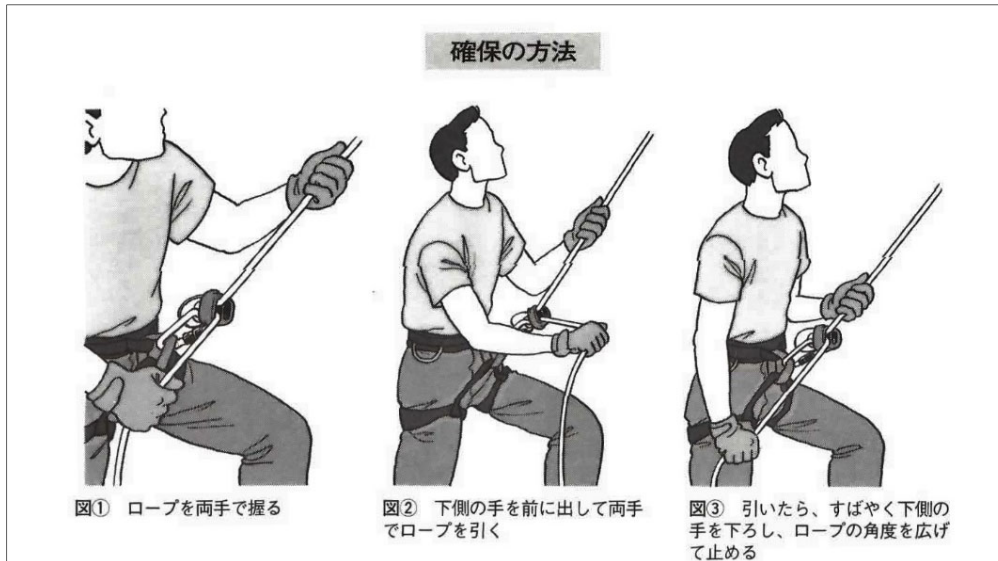
6、確保 1) 確保器のセット

* 確保器を落とさない手順



2) 確保の方法

- ① トップロープでの確保
- ② リード・フォロー時の確保



*皮手袋着用

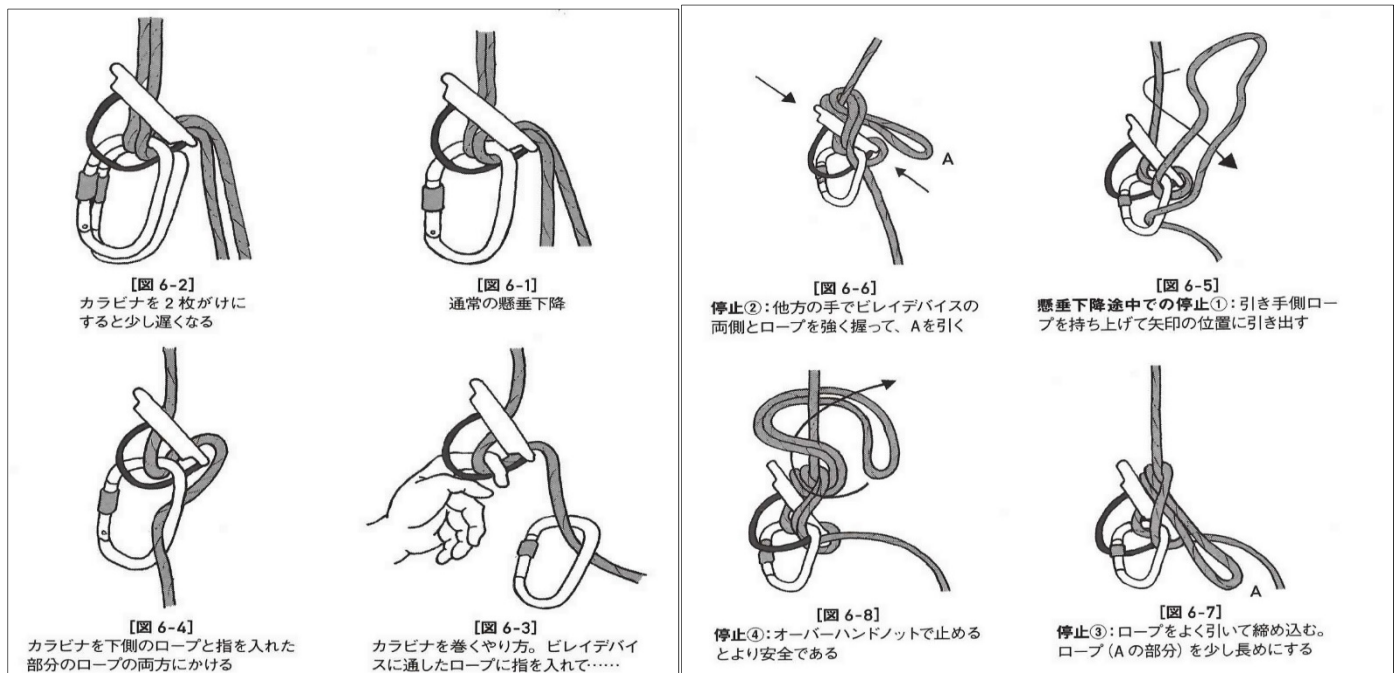


7、確保器での懸垂下降

- 1) 懸垂下降の手順 ①下降支点の設置 ⇒ ②スリングのセット ⇒ ③ロープの連結（ダブルの場合）⇒ ④ロープの投下 ⇒ ⑤下降器のセット ⇒ ⑥ロープ末端の確認

2) 確保器のセット

3) 途中固定



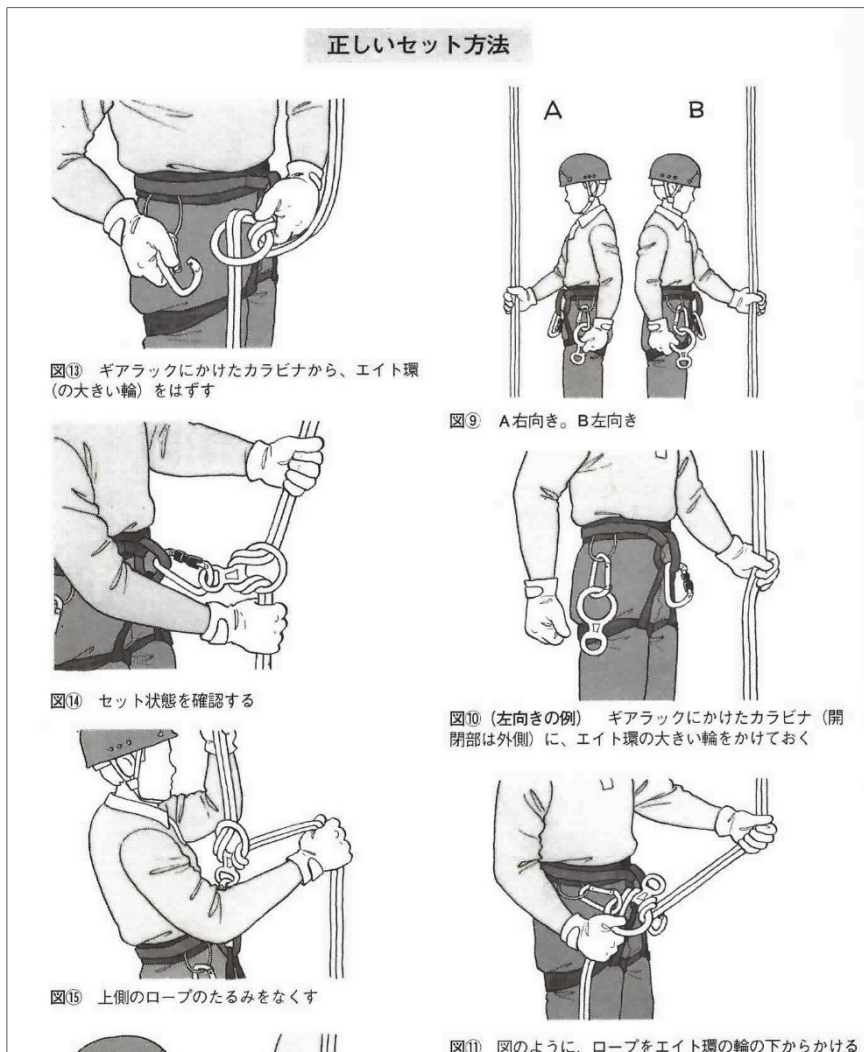
*通常は6-1であるが、ロープが細くなっている所以他の方法も覚えておくこと

8、8 環での懸垂下降

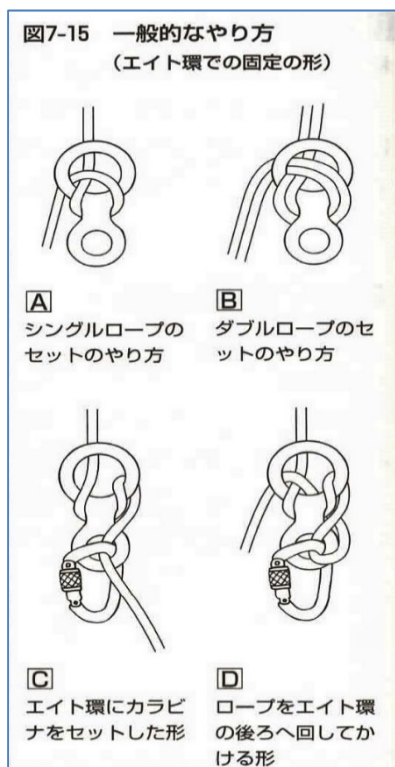
1) 8 環のセット

* 8 環を落とさない

2) 誤ったセット方法



3) 途中固定

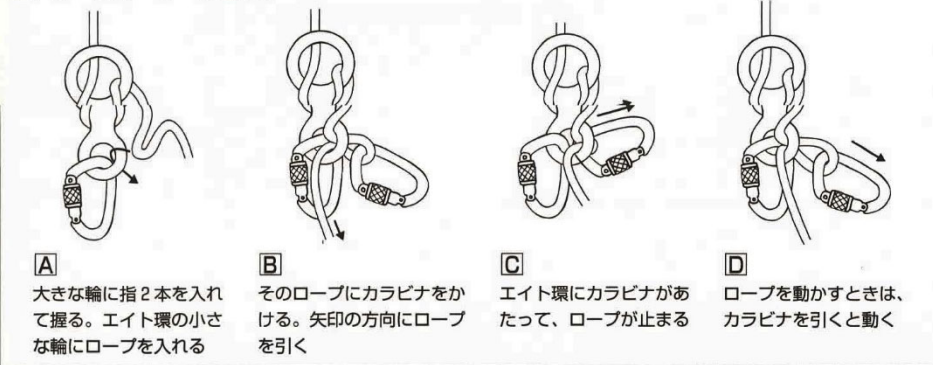


* 固定できること。スムーズに固定を外せること。

- A 足がつく時でないといけない
9mmの柔らかいロープだと止まらない場合がある。
- B ダブルにすると止まるが空中では出来ない。止まっても固定するとき
に滑る。
- C カラビナの抵抗で少しは楽。
- D 空中でも可能
- E 別のカラビナを使う。
- F 上のダブルロープの間に入れるだけで固定できる。念のため
にオーバーハンドノットで結ぶ。



図1-16 「式イーシーブロック」



*小さな輪にロープが入らない場合もある

参考資料「全図解クライミングテクニック」 「新全図解クライミングテクニック」「ロープレスキュー技術」
「山と溪谷・2018年3月号」